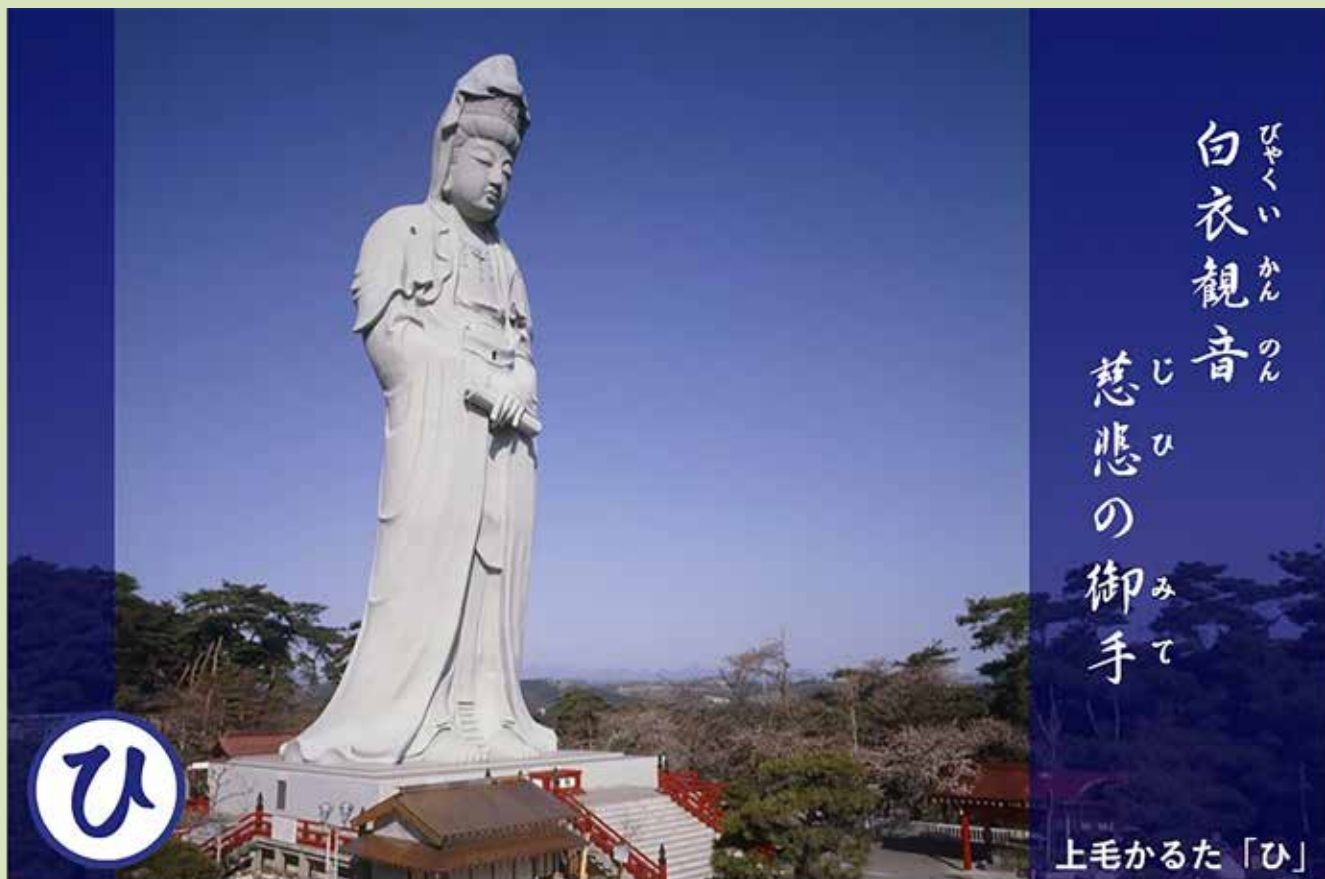


北関東 防衛局 広報

2025.6
Vol.
123

目次 - CONTENTS -

- 2 横田基地 日米友好祭（2025）
- 4 空母艦載機が硫黄島で着陸訓練を実施
- 5 防衛パネル展開催（陸自相馬原駐屯地）
- 6 防衛施設周辺の環境整備事業（東京都瑞穂町）
- 7 令和7年度局長感謝状贈呈（瑞穂町長）
令和7年4月1付人事異動幹部紹介
（企画部長、管理部長）
- 8 わが町紹介（千葉県鎌ケ谷市）
- 9 事務所だより ～前橋防衛事務所～
- 10 北関東防衛局からのお知らせ・お願い
 - ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
 - ・ドローンの規制についてのお知らせ
 - ・米軍の飛行場周辺における建造物等の設置について
 - ・在日米軍従業員募集



慈眼院 高崎白衣大観音（写真提供：（一社）高崎観光協会）

横田基地 日米友好祭（2025）

令和7年5月17日（土）、18日（日）の両日、『横田基地 日米友好祭（Japanese-American Friendship Festival 2025）』が開催され、初日は朝からあいにくの雨天でしたが、2日間で約11万7千人が来場しました。

このイベントは、1977年に開催されて以来、日米両国の永続的な友好関係を祝い、地域社会の皆様とのパートナーシップを深めることを目的として、横田基地の一部が一般開放される毎年恒例の開催イベントとなります。

P-8Aポセイドン



F-16ファイティングファルコン



駐機場には、C-17グロームマスターIII（輸送機）、KC-135ストラトタンカー（空中給油機）、P-8Aポセイドン（哨戒機）、CV-22オスプレイ（輸送機）、F-16ファイティングファルコン（戦闘機）などの米軍機のほか、陸上自衛隊のUH-2や民間の航空機など計約30機が地上展示されました。

CV-22オスプレイ



C-17グロームマスターIII



地上展示されたCV-22オスプレイやC-17グロームマスターIIIなど大型輸送機には機内を見学できるサービスもあるため、雨にもかかわらず大勢の来場者が長蛇の列を作り決して普段では経験できない機内見学を大いに楽しんでいました。

UH-1Nヒューイ(多用途ヘリコプター)は、1980年から2025年までの45年間にわたる任務を終えて今年退役となる事から、機内見学には多くの来場者が列を作り、記念撮影をして別れを惜しんでいました。

地上展示の航空機前方には、航空機の性能や諸元が記載された案内ボードが設けられ、機体と共に写真撮影を行っていたり、米軍兵士や自衛官は機体を背景に来場者との写真撮影に気軽に応じるなど和やかな雰囲気になっていました。



UH-1Nヒューイ



C-130からの空挺降下

F-16戦闘機デモンストレーションチームによる展示飛行では、来場者は、パイロットの飛行技術に見入ったり、陸上自衛隊習志野駐屯地（千葉県）の第1空挺団隊員は、米空軍横田基地所属C-130Jスーパーハーキュリーズから空挺降下のデモンストレーションを実施し、日米間の相互運用性を発揮して共同対処能力を披露しました。

駐機場の南側には、ステーキ、ハンバーガー、ピザなどを販売するフードブースが多数軒を連ねていて、来場者はこれらのアメリカンフードを購入し、思い思いにアメリカンフードに舌鼓を打っていました。

会場に設けられた野外ステージでは、米合衆国空軍太平洋音楽隊をはじめ様々な日米ミュージシャンによる演奏、力自慢コンテストなどが開催されて、会場の雰囲気を大いに盛り上げ、2日間の日程を終了しました。



横田基地周辺自治体のマスコットキャラクターと自衛隊キャラクターが来場者をお出迎え

米海軍空母艦載機が硫黄島で着陸訓練を実施

訓練期間中約2,500回の着陸訓練が実施されました

硫黄島における61回目の米海軍空母艦載機着陸訓練（FCLP：Field Carrier Landing Practice）が、令和7年5月19日から30日までの間、実施されました。

訓練には、原子力空母ジョージ・ワシントンの艦載機（FA-18E、FA-18F、EA-18G、F-35C、E-2D）が参加し、期間中に約2,500回の着陸訓練が行われました。



着陸訓練を行う空母艦載機



日米代表者の対話

当局では、訓練が円滑に実施されるよう、硫黄島に支援室を設置して、企画部次長を始め職員19名を派遣し、器材の使用及び支援物資の輸送に係る米海軍と海上自衛隊及び航空自衛隊との間の連絡調整や、給食、施設の管理に係る役務の調達等の支援業務を昼夜を問わず行いました。

訓練の実施に当たっては、硫黄島の自衛隊基地を管理する海上自衛隊及び航空自衛隊の協力もあり、当初予定していた訓練期間内に無事全ての訓練を硫黄島で終えることができました。



森局長（左側）視察時の日米調整会議

また、訓練期間中、当局の森局長が訓練や調整状況を視察するとともに、当局の支援業務に携わる職員を激励しました。

当局では、本土の飛行場周辺での航空機騒音軽減などを図るため、米軍に対し、できる限り硫黄島において訓練を行うよう、累次の機会に要請しています。

今後とも、訓練の実施に当たっては、日米間の調整を綿密に行い、恒久的なFCLP施設が整備されるまでの間、暫定的な代替施設である硫黄島において訓練が実施され、本土の飛行場周辺における航空機騒音の軽減が図られるよう努めてまいります。



日米部隊間交流

空母艦載機着陸訓練とは

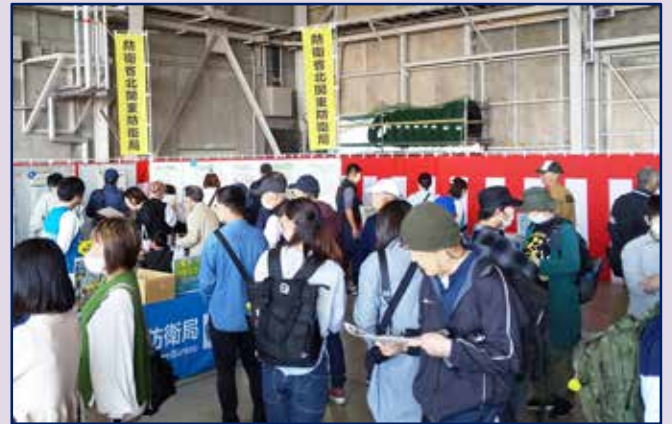
空母出航前に、空母艦載機のパイロットが着艦資格を取得するため、陸上の滑走路の一部を空母に見立てて実施する着陸訓練です。

防衛パネル展開催（陸自相馬原駐屯地）

4月12日(土)、満開の桜の下で開催された第12旅団創立24周年・相馬原駐屯地創設66周年記念行事（群馬県）において、昨年に引き続き「防衛パネル展」を開催しました。

当日は、天候に恵まれ、多くの方が記念行事にご来場されパネル展にも500名以上の方に訪れていただきました。

今年のパネルは、令和6年度までの防衛力整備計画の進捗状況、令和7年度予算の重点ポイント及び自衛官の処遇改善について説明したものです。



防衛省・自衛隊に関する質問
～73 自衛官の処遇改善等について①～ 2025.1.16開催

自衛官の処遇などは、どう改善されるのですか？

戦後最も厳しい安全保障環境に対応した防衛力の抜本的強化のためには、**自衛官の確保が必要不可欠**です。自衛官の定員割れが続く中、強い危機感を持ち、個々人のやりがいと、**働きやすさを大切に、働きがい向上させる組織**にしていける必要があります。

これらを踏まえ、関係閣僚が高い確度で決断を踏んだ上で、具体的な方策をとりまとめ、令和7年度予算案に関連事業に係る**4,097億円**を計上しました。

具体的方策

- 1 処遇改善 167億円**
手当等の創設・金額の引上げ等
やりがいと働きやすさ双方の向上
- 2 生活・勤務環境の改善 3,878億円**
退職後の再就職支援等
- 3 新たな生涯設計の確立 19億円**
その他 32億円

特に、自衛官の処遇改善パネルは、現下の厳しい自衛官募集状況に鑑み、令和6年10月に設置された関係閣僚会議において取りまとめられた基本方針を踏まえた人的基盤強化に係る施策に関するものであり、令和の時代にふさわしい処遇を確立していく防衛省・自衛隊の取組を説明したものです。

展示に当たっては、より理解を深めていただけるように、パネルの中にヒント（答え？）が隠された恒例のクイズを行い、クイズ参加者に陸海空各自衛隊装備品がプリントされた特製「缶バッジ」をプレゼントしました。参加者からは、クイズを通して防衛力整備計画が概ね計画通りに進捗していることや自衛官、予備自衛官等の処遇改善への取組が良く分かり勉強になったなどの声が聞かれました。

このほかにも防衛政策広報「X」をフォローして頂いた方への「特大缶バッジ」又は「クリアフォルダー」のプレゼントを行いました。

防衛パネル展は、防衛省・自衛隊の諸政策・諸活動について国民の方々の理解を深めていただくことを目的として1都7県（千葉・茨城・埼玉・栃木・群馬・長野・新潟）に所在する自衛隊の記念行事や自治体において開催しています。開催予告やその結果については、その都度「X」にポストするとともに北関東防衛局ホームページでもお知らせをしています。

防衛パネル展

7年度予算で見ると！

2025年度から2027年度で整備する
戦艦艦艇などの一画（イメージ）

**防衛力の抜本的強化
進捗状況**

自衛官の処遇改善
快適で充実したライフスタイルを
実現するための取組

**生活環境
勤務環境
改善します**

防衛省の取組
防衛省の取組
防衛省の取組

防衛政策広報「X」@mod_kitakanDB #防衛パネル展



防衛施設周辺の環境整備事業（東京都瑞穂町）

瑞穂町多世代交流センターMIZCUL（ミズカル）オープニング式典の開催

令和7年5月11日（日）に瑞穂町多世代交流センターMIZCUL（ミズカル）オープニング式典が開催され、当局からは森北関東防衛局長らが出席し、関係者の皆様とともに交流センターの完成を祝いました。式典には杉浦瑞穂町長（当時）をはじめとした関係者が出席され、地元の児童とともにテープカットや記念撮影が行われ、その後、完成した施設の内覧会が行われました。

瑞穂町多世代交流センターMIZCUL（ミズカル）模型写真

【改修工事概要】

構 造：鉄筋コンクリート2階建
敷地面積：約4,980㎡
延床面積：約1,828㎡
総事業費：約8億150万円
補助金額：約4億750万円

本施設は、平成5年度に瑞穂町高齢者福祉センターとして竣工されましたが、この度の改修により、子どもから高齢者までの多様な世代が交流し、つながり、及び居場所として、高齢者福祉センター、ダンススタジオや音楽スタジオ、誰もが利用できるパブリックスペースなどが備えられ、学童保育クラブも併設されています。

本施設の名「MIZCUL（ミズカル）」は、瑞穂町民皆さんからの投票により選定されており、『みずほ』+『culture（文化）』+『cultivate（耕す）』に由来します。

なお、本施設の改修に際しては、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第9条の規定に基づく特定防衛施設周辺整備調整交付金が活用されており、改修工事に約4750万円、備品の購入に200万円が充てられています。



当局としましては、今後とも防衛施設を安定的に運用するためには地元の皆様方のご理解とご協力が不可欠であるものと考え、皆様方の生活の安定と福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。

令和7年度 局長感謝状贈呈（瑞穂町長）

令和7年5月2日、森北関東防衛局長は、杉浦裕之瑞穂町長（当時、以下同じ）に対し、感謝状を贈呈しました。

杉浦町長は、平成29年5月16日に瑞穂町長に就任され（令和3年4月再当選）、以来、令和7年5月15日の任期満了まで、横田飛行場の運用が円滑かつ安定的に行えるよう国の防衛行政の遂行に協力されてきました。

横田飛行場には、在日米軍、第5空軍、第374空輸航空団の司令部が置かれているほか、西太平洋地域での任務を担う多数の部隊が所在しています。

杉浦町長は、横田飛行場を抱える自治体の首長として、我が国の国防の基軸となる日米同盟の重要性を深く認識され、防衛行政に理解を示し、地域住民の理解増進に努められました。

防衛施設と地域住民との融和に努められ、防衛施設の安定的な使用に多大な貢献をされたことから、これまでのご功勞に対し、感謝の意を表したものです。



（左から、杉浦町長、森局長）

令和7年4月1日付人事異動幹部紹介



（企画部長 緒方 康人）

4月1日付で企画部長に着任しました緒方です。

私自身、北関東防衛局での勤務は、地方調整課長以来、約5年ぶりになります。

当局管内には自衛隊及び在日米軍の重要施設が多数所在しております。

これらの防衛施設が安定的に運用されるためには、関係地方公共団体や地域住民の皆様のご理解・ご協力がなければ成り立ちません。

私ども企画部は、施設の安定的な運用のために、皆様方に寄り添い、ご意見を賜りながら奔走する所存です。

何卒、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

4月1日付で管理部長を拝命しました佐々木です。

北関東防衛局の勤務は2度目で、懐かしくもありますが早く感覚を取り戻したいと思っております。

管理部は、防衛施設の根幹となる施設の取得、管理と損失に伴う補償、加えて米軍の事件・事故への対処と幅広い業務を担っております。

これまでの経験を活かしながら業務に取り組む所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



（管理部長 佐々木 知昭）

鎌ケ谷市は、千葉県の北西部、都心から25キロメートル圏内に位置する人口約11万人の市です。面積は約21平方キロメートルとコンパクトながらも、市内には4路線の鉄道があり、この4路線が交差する新鎌ケ谷駅からは直通で都心に約30分、成田空港まで最短約20分で行くことができます。

市内には公園や梨園を中心に豊富に緑が残る一方で、プロ野球球団である北海道日本ハムファイターズのファーム本拠地であるファイターズ鎌ケ谷スタジアムがあるなど、自然と賑わいが調和した住宅都市として発展してきました。



(梨と野菜の妖精「かまたん」)
鎌ケ谷市マスコットキャラクター

■ 鎌ケ谷市の梨

鎌ケ谷市は、梨の産出額が全国1位を誇る千葉県の中で、白井市、市川市に次いで3番目に産出額が多い梨の一大産地です。市内では、幸水、豊水、あきづきなどの代表的な品種が栽培される他、かおりや秋満月、秋麗といった希少な品種も栽培されています。

手間暇かけて栽培された梨は、8月中旬から10月中旬ごろにかけて、全国発送され、贈り物としても喜ばれております。また、首都圏に近い立地から、梨狩り体験なども人気があります。



■ 防衛施設周辺対策事業

疾病予防の体制を充実させるため、本市では特定防衛施設周辺整備調整交付金を基金に積み立て、乳幼児を対象とする予防接種に充てることで当該事業を安定的に実施しております。

また、令和6年度は防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用し、高規格救急自動車の老朽化を解消し良好な機能を維持するため車両の更新も行いました。



文・写真とも鎌ケ谷市に寄稿していただきました。

前橋防衛事務所が立地する群馬県は、県内各地に458本の源泉、96か所の(宿泊可能な)温泉地を有し、温泉が魅力的な都道府県ランキング(2021年調べ)1位に輝いたこともある温泉王国です。今回は、その中でも特に有名な「群馬の3名湯」「上毛3名湯」と呼ばれ、上毛かるたにも詠まれている3つの温泉地を紹介します。

くさつ くすり いでゆ
 草津温泉 ー 草津よいとこ 薬の温泉 ー

吾妻郡草津町に所在する草津温泉は、日本一の源泉の自然湧出量(ポンプ等を使用せずに湧き出てくる湯量)を誇り、日本三名泉の一つに数えられています。酸性度が高いことで知られ、温泉や温泉街には独特な温泉の香りが漂います。

草津温泉の源泉は高温ですが、温泉街中心部に位置する湯畑には7本の湯樋があり、この湯樋を通して湯温を下げることで、適温となった源泉を各施設に運ぶことが出来るのです。



(写真提供：(一社)草津温泉観光協会)



(写真提供：(一社)渋川伊香保温泉観光協会)

いかほおんせん にほん めいとう
 伊香保温泉 ー 伊香保温泉 日本の名湯 ー

渋川市に所在する伊香保温泉は、365段からなる長大な石段街で有名です。石段の両脇には温泉旅館や土産物屋、遊技場が並び、風情溢れる独特の景観を有しています。

この石段街は今から約400年前、長篠の戦いで敗北した武田軍が負傷者の治療のために整備したと伝えられており、我が国の温泉都市計画第一号と言えます。石段街を登り切った先には、子宝と縁結びのご利益があるとされる伊香保神社が鎮座しています。

また、名物である湯の花まんじゅうは、日本全国の温泉まんじゅうの発祥源とされています。

よ あらう しまおんせん
 四万温泉 ー 世のちり洗う 四万温泉 ー

吾妻郡中之条町に所在する四万温泉は、四万川の上流地域に位置し、深い山々と奥四万湖に囲まれた自然豊かな温泉地です。

「飲めば胃腸に良く、入浴すれば肌に良い」泉質とされ、温泉街には飲泉所が点在しています。昭和29年に、国民保養温泉地の第1号に指定された3つの温泉地の一つでもあります。

元禄7年開業の歴史ある温泉宿があり、映画「千と千尋の神隠し」に登場する湯屋「油屋」のイメージモデルの一つとされています。



(写真提供：(一社)四万温泉協会)

北関東防衛局からのお知らせ・お願い

レーザー光線の航空機への照射は 犯罪(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で 飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射 するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので **決して行わないで下さい。**



■レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

照射している人を見かけた方は **110番通報** をお願いいたします。

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。

刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年11月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

防衛省、外務省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課 連絡調整室 (東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄) 防衛省本省 地方協力局 在日米軍協力課	(代表) 048-600-1800 (内線) 2226.2236.2237 (直通) 03-5362-4851
--	---

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている **自衛隊施設／米軍施設** その **周辺地域** (周囲約300m) の上空における **ドローン** 等の飛行は、**原則として禁止** されています。

これに違反した場合、次のような措置／罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年／罰金50万円

周囲おおむね300mの地域
の上空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設／米軍施設の敷地・
区域の上空(レッド・ゾーン)



※このほか、**航空法**上の無人航空機の飛行禁止空域においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、**国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。**

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続の詳細については、防衛省HPをご参照ください。

<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

お問い合わせ先

防衛省 北関東防衛局 企画部 地方調整課 連絡調整室
【代表】048-600-1800 (内線: 2226.2236.2237)

米軍の飛行場周辺における 建造物等の設置について

航空機が安全に離着陸するためには、飛行場周辺の一定の空間を、障害物のない状態にしておくことが重要です。

米軍の飛行場周辺において、建造物等の設置を計画されている方は、北関東防衛局へお問い合わせください。

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記にご連絡願います。

(横田飛行場関連)

北関東防衛局横田防衛事務所 (代表) 042-551-0319

(木更津飛行場関連)

北関東防衛局千葉防衛事務所 (代表) 043-221-3541



在日米軍従業員募集

独立行政法人駐留軍等労働者

労務管理機構【エルモ】では、

在日米軍基地で勤務する従業

員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホー

ムページをご覧ください。か、

下記の支部にお問い合わせく

ださい。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。



【X (旧Twitter)】

X (旧Twitter)

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報 (エルモ) @LMO_recruit」



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理二係

住 所: 〒196-0014

東京都昭島市代官山2-4-4 昭島昭第2ビル4階

電 話: 042-542-7663

担当施設: 横田飛行場、ニューサンノーマンセンター、赤坂プレス・センター他

<https://www.lmo.go.jp>

L M O 検 索

エルモ
ホームページ

求人情報
本州・九州の
基地



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/event-katsudo/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報 検 索

広報紙
バックナンバー

